

# 第16章 消防本部

## 1. 消防本部の主要事業

(消防総務課)

### (1) 現場指揮体制の構築

令和3年4月1日に発生した島根町加賀の大規模火災の教訓から、災害現場において、司令塔となる指揮機能をさらに強化する必要があるとの認識に至り、早期整備に向け、職員採用や研修による人材育成を図り、令和6年度に専属指揮隊の運用を開始する。

## 2. 沿革

(消防総務課)

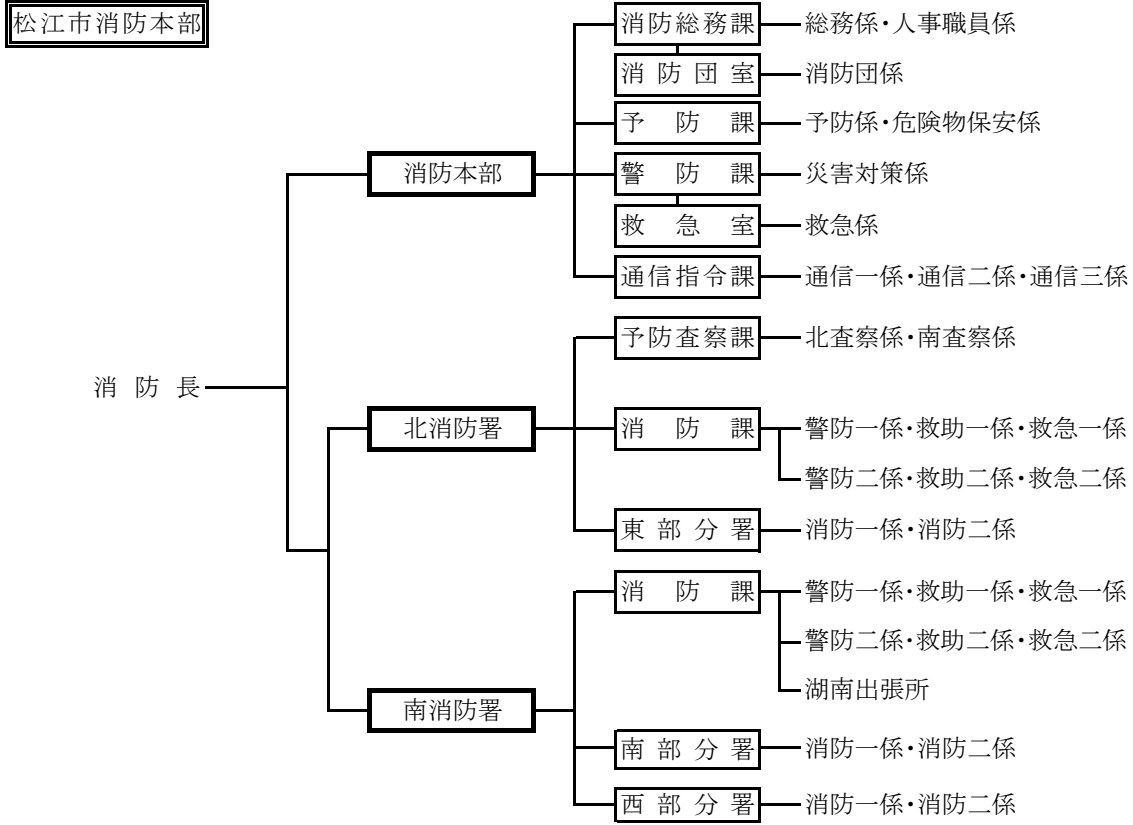
- 明治22年8月 松江市消防規則と同施行手続きを制定し、4番組制の松江市消防組を編成
- 27年6月 勅令により4番組制は1組に統轄され、橋南、橋北の2部制となる
- 昭和14年4月 警防団令施行により松江市警防団に改組、本部及び7分団総員865名となる
- 22年9月 消防団令施行により松江市消防団として再発足し8分団550名に改める
- 24年4月 殿町の市役所総務課内に松江市消防本部を設置
- 26年1月 松江市消防署(消防職員43名)を設置、消防団は11分団554名
- 30年5月 旧松江市警察署庁舎を改築し、消防本部、消防署等に移転
- 37年9月 殿町に新庁舎が完成し、消防本部、消防署を移転
- 47年4月 松江地区消防組合を設立
- 48年3月 消防本部通信室無線統制台及び無線装置、上本庄町澄水山無線基地局が完成
- 4月 松江地区消防組合消防本部及び松江消防署開庁(条例定数147名)
- 52年2月 嫁島町に松江消防署南分署が完成、浜乃木出張所は1月末閉鎖
- 平成元年3月 西川津町に新庁舎が完成、朝日出張所は統合、消防緊急情報システム運用開始
- 4月 松江地区消防組合、松江地区環境衛生組合及び松江八東保健防疫組合を解散し、新たに松江地区広域行政組合を設立
- 4年5月 松江消防に初の救急救命士が誕生
- 5年10月 松江市消防団に初の女性消防団員が2名入団
- 7年1月 阪神・淡路大震災で被災した神戸市に応援隊を派遣
- 9年7月 矢田町に松江南消防署が完成、南分署及び大庭出張所は統廃合
- 10年3月 県内の携帯電話からの119番通報の代表消防本部として受信システムの運用を開始
- 14年7月 「消防力整備実施計画」「署所再編5ヵ年計画」を策定
- 15年8月 宍道町に松江南消防署宍道分署が完成、宍道出張所は閉鎖
- 17年3月 松江地区広域行政組合を解散、1市7町村の合併により新松江市が誕生し松江市消防本部が発足、消防団は8消防団による連合消防団方式を採用、団員定員は2,083名
- 18年3月 「消防力整備実施計画」に基づく「署所再編実施後期計画」を策定
- 4月 消防団への迅速な情報伝達のため「松江市消防団災害出動検索システム」の運用を開始
- 19年1月 指揮命令系統の一元化を図るため、8つの消防団の連合体を1つにし、新松江市消防団が発足した
- 4月 松江消防に初の女性救急救命士が誕生、国の指定を受け「高度救助隊」を設置
- 21年4年 乃白町に松江市南消防署湖南出張所が完成、玉湯出張所は閉鎖
- 22年4月 松江市が国際消防救助隊編成協力市町村の登録を受け、隊員6名を登録した
- 23年3月 緊急消防援助隊島根県大隊として、東日本大震災で被災した仙台市に34名の職員を派遣
- 8月 東出雲町との市町村合併に伴い東出雲町消防団を松江市消防団に統合、10方面団、39分団、団員定員2,255名
- 25年4月 美保関町に松江市北消防署東部分署が完成、美保関出張所、八東出張所は閉鎖  
高機能消防指令センターを更新整備し、運用開始
- 26年8月 緊急消防援助隊島根県大隊として、豪雨による土砂災害で被災した広島市に44名の職員を派遣
- 28年4月 八雲町に松江市南消防署南部分署が完成、東出雲出張所、八雲出張所は閉鎖  
緊急消防援助隊島根県大隊として、熊本地震で被災した熊本市に42名の職員を派遣
- 30年7月 緊急消防援助隊島根県大隊として、豪雨による土砂災害で被災した呉市に63名の職員を派遣
- 10月 原子力災害対策の強化を図るため、放射線防護対策として、消防本部庁舎の隣接地に陽圧浄化ユニット、除染施設、原子力災害対策資機材保管庫及び車庫を備えた陽圧装置棟を増築し、非常用発電機及びオイルタンク設置のための発電機棟を新築した
- 令和3年10月 松江市北消防署北部分署が完成、鹿島出張所及び秋鹿出張所は閉鎖。
- 令和5年4月 松江市消防団の団員定員 1,970名となる。

3. 松江市消防本部

(消防総務課)

(1) 組織図

(令和5年4月1日現在)



(2) 職員条例定数 270 (令和4年4月1日～)

(3) 所属別・階級別職員別職員数(令和5年4月1日現在)

(単位:人)

区分	所属別	消防吏員								その他の職員	合計
		消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	
消防本部	消防長	1									1
	次長		1								1
	消防総務課			1	5	3	2		14	1	26
	予防課			1	2	3	2				8
	警防課			1	4	3	2				10
	通信指令課			1	3	3	8	1			16
	小計	1	1	4	14	12	14	1	14	1	62
北消防署	署長		1								1
	予防査察課			1	2		4				7
	北消防署			1	6	14	18	1	10		50
	北部分署				2	5	7		5		19
	東部分署				2	5	6	1	5		19
	小計		1	2	12	24	35	2	20		96
南消防署	署長		1								1
	南消防署			1	6	14	19		7		47
	南部分署				2	5	7		5		19
	西部分署				2	5	6	1	5		19
	湖南出張所				1	3	2	2	2		10
	小計		1	1	11	27	34	3	19		96
	合計	1	3	7	37	63	83	6	53	1	254

## (4) 消防本部・署所出動状況 令和4年中(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

(単位:回、人)

区分	災害出動						予防活動		警防活動			合計
	火災	風水害	救助	救急	捜索	誤報・虚報	査察	訓練指導	火災原因調査	特別警戒	警防調査	
出動回数	52	0	184	9,826	8	32	876	178	55	257	1,389	12,857
出動延人数	1,184	0	2,622	31,348	20	535	2,274	599	199	718	4,382	43,881

## (5) 火災概要

区分		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
火災件数 (件)	建物	24	36	22	30	28
	林野	5	2	5	2	2
	車両	4	4	4	9	2
	船舶	1	0	0	0	0
	その他	20	18	15	8	20
	合計	54	60	46	49	52
損害額 (千円)	建物	35,390	42,363	22,009	141,680	162,151
	林野	567	0	139	25	0
	車両	2,107	4,180	1,738	3,006	494
	船舶	55	0	0	0	0
	その他	208	109	59	25	13,464
	爆発	0	0	0	0	0
合計	38,327	46,652	23,945	144,736	176,109	
焼損棟数(棟)	全焼	12	17	6	25	14
	半焼	0	4	0	1	2
	部分焼	11	10	12	13	9
	ぼや	16	25	17	32	21
焼損面積	建物 (㎡)	907	1,222	946	3,242	3,426
	林野 (a)	28	8	12	40	1
り災人員数(人)		52	67	58	85	76
り災世帯数 (世帯)	全損	3	8	6	13	6
	半損	1	2	1	2	1
	小損	15	24	16	20	21
死傷者(人)	死者	3	2	2	4	2
	傷者	6	10	8	7	8

## (6) 救急概要

(単位:件、人)

区分		平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
		出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
火災	災	53	4	49	9	41	9	44	4	47	8
自然災害	害	1	1	1	1	8	6	13	6	3	2
水難	難	11	6	22	12	23	10	24	10	28	14
交通	通	600	514	559	494	479	421	488	412	507	405
労働災害	害	71	67	43	42	68	68	73	70	92	92
運動競技	技	81	81	85	85	33	33	52	50	71	70
一般負傷	傷	1,339	1,262	1,365	1,274	1,351	1,278	1,384	1,323	1,443	1,396
加害	害	25	21	17	16	16	14	12	9	23	16
自損行為	為	66	44	77	53	88	53	94	68	68	48
急病	病	6,125	5,800	5,984	5,669	5,349	5,131	5,863	5,636	6,828	6,511
その他	他	723	602	749	629	728	585	713	589	716	592
合計		9,095	8,402	8,951	8,284	8,184	7,608	8,760	8,177	9,826	9,154
1日平均出動件数		24.9		24.5		22.4		24.0		26.9	
1日平均搬送人員		23.0		22.7		20.8		22.4		25.1	
1万人当り出動件数		446.3		440.1		405.2		436.3		493.2	
1万人当り搬送人員		412.3		407.3		376.7		407.3		459.5	
人口(各年1月1日現在)		203,787		203,369		201,981		200,772		199,236	

(7)車両(令和5年4月1日現在)

(単位:台)

区分	ポンプ車	水槽付ポンプ車	化学車	はしご車	救助工作車	水槽車	救急自動車	作業車	支援車	特殊災害対策車	災害救援車	重機搬送車	緊急消防二輪自動車	業務車	人員輸送車	資機材搬送車	広報車	査察車	指揮車	防災活動車	防災活動車両	福祉車両	合計
消防本部														1	1		3	1	1	1	1	2	11
北消防署	1	1	1	1	1	1	3	1	1		1		1	1		1		1	1			0	17
東部分署	1	1					2															1	5
北部分署	1	1					2															1	5
南消防署	2	1		1	1		2			1	1	1				1	1	1	1			1	15
南部分署	1	1					2															1	5
西部分署	1	1					2															1	5
湖南出張所	1						1															0	2
合計	8	6	1	2	2	1	14	1	1	1	1	2	2	1	2	4	3	3	1	1	7	65	

(8)通信施設(令和5年4月1日現在)

(単位:回線、台)

区分	通信指令システム	119番専用回線	非常用119番専用回線	携帯119番電話回線	NTTひかり119番電話回線	NET119緊急通報システム	聴覚障害者緊急FAX	衛星119回線	携帯119番電話転送	携帯・IP位置情報	指令専用回線	順次指令用回線	Eメール指令回線	消防団専用電話	市役所専用回線	警察専用回線	ネクスコ西日本専用回線	病院専用回線	ガス水道専用回線	災害情報案内	携帯電話	合計	
消防本部	1	4		2	2	1	1	2	2	2	1	3	2	1	1	1	1	2	2	1	4	36	
北消防署																						7	7
東部分署											1											2	3
北部分署											1											2	3
南消防署											1											6	7
南部分署											1											2	3
西部分署			2								1											2	5
湖南出張所											1											1	2
市役所											1												1
合計	1	4	2	2	2	1	1	2	2	2	8	3	2	1	1	1	1	2	2	1	26	67	

## 4. 松江市消防団

(消防総務課)

(1)消防団員数及び消防車両数(令和5年4月1日現在)

(単位:人、台)

区分	松江	鹿島	島根	美保関	八雲	玉湯	宍道	八束	東出雲	合計
人員	502	232	190	253	112	95	203	138	151	1,876
消防ポンプ自動車	8	2	0	0	0	2	2	0	0	14
小型動力ポンプ付積載車	27	12	12	12	8	5	7	8	12	103
小型動力ポンプ	4	0	0	13	0	0	0	0	0	17
合計	39	14	12	25	8	7	9	8	12	134

(2)消防団員の出勤状況 令和4年中(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

(単位:人)

区分	松江	鹿島	島根	美保関	八雲	玉湯	宍道	八束	東出雲	合計
火災	308	136	1	20	44	72	299	25	21	926
風水害等その他の災害	0	0	0	6	0	0	0	0	0	6
警戒	80	28	24	44	16	12	29	16	21	270
訓練	873	178	232	260	145	442	203	146	228	2,707
その他	965	372	353	533	196	175	249	294	314	3,451
合計	2,226	714	610	863	401	701	780	481	584	7,360